

# 特集 学生の研究活動報告—国内学会大会・国際会議参加記 23

## グローバル人材育成プログラム に参加して

野間 健太

Kenta NOMA

機械システム工学科 3年

### 1. はじめに

2015年8月13日(木)から8月30日(日)にかけてアメリカ、カリフォルニア州のサンノゼにおいて約3週間のグローバル人材育成プログラムに参加した。今回の研修の主な目的はインターンシップを通じてグローバル人材に必要なものは何か、また世界で活躍できる人材になるために必要なスキル、意識等は何かといった事も学ぶことであった。今回の研修日程を表1に示す。

表1 研修日程

8月13日(木)	出発, サンフランシスコ観光
8月14日(金)	シリコンバレーツアー
8月15日(土)	講演会
8月17日(月)	インターンシップ
8月28日(金)	
8月31日(月)	帰国

### 2. 研修内容

#### 2.1 参加目的

ここ数年来、日本でしきりにグローバル化が謳われている。実際に、自分自身テレビなどのメディアを通して、また観光地、学校などを通して他言語を聞く機会は以前より増していると感じる。今回の研修では私自身、日本人の立場から見て、なぜグローバル人材は必要なのか、またグローバル人材に必要なものは何かを学ぶことを目的とした。

#### 2.2 講演会

8月15日(土)、サンノゼにあるホテルにおい

て、現地で起業されている日本人の方々として、久保由美様、樋口聖様、戸村光様、またサンノゼに本社を置く Avago Technologies に勤務されている都築玄一様の講演会に参加した。この講演会では主に、何故日本から離れた外国の地で働こうと思ったのか、また何故今の会社を起業するに至ったのか等の話を聞いた。中でも講演者の一人である戸村さんはサンノゼにある大学に通う、私たちと同世代の方であった。戸村さんのような同世代の方から聞く話は今の自分自身の姿と照らし合わせて話を聞くことができ、自分に足りないもの、今後養っていかなければならない能力などを考えるとても良い機会となった。講演会の後は食事を交えながら質疑応答の時間をいただき、アメリカの大学生の様子、これからの自分のステップアップのために必要なスキル、熱意等の話を聞かせてもらった。今回の講演会で聞いた話は、将来海外で働きたいと考えている自分自身にとって全てが刺激的なものであり、とても貴重な時間を過ごさせてもらった。

#### 2.3 ホームステイ

8月15日(土)から宿泊先をホテルからホームステイ先に移した。私のホストファミリーはメキシコ出身の方で、13歳の双子の子供とそのご両親の4人家族だった。子供たちとは一緒にスポーツをしたり、映画をみたりし、アメリカの子供が自由な時間をどのように過ごすかを知るとともに、とても楽しい時間を過ごすことができた。また、ご両親にはとても親切にしてもらい、何不自由無く暮らすことができた。一緒に過ごした時間は短かったが、時間が経つとともに親密さが増し、家族と一緒にいるかのような時間を過ごすことができ、素晴らしい体験をすることができた。

アメリカでは私のホストファミリーがそうであったように、いろいろな人種の方が暮らしている。これは日本とは懸け離れた社会であり、そこには様々な生活様式がある。そのような日本とは全く違うアメリカの社会を知ることとは、とても良い経験

となった。

## 2.4 インターンシップ

今回のインターンシップでは日系企業である Disco Hi Tech Inc. でお世話になった。こちらの企業は日本国内に5拠点、国外に34拠点のオフィスを置いており、主な事業は精密加工装置の製造、販売、また精密部品の加工等である。精密加工装置を用いて加工するものは主にシリコン等の半導体であり、この研修期間で私が主に行った事は精密加工装置を用いたシリコンウェハの加工である。ここでシリコンウェハを加工していく手順を説明すると、まずシリコンウェハの片面に薄いテープを貼り付けなければならない。これはシリコンウェハを切断する際、ブレードがシリコンウェハを貫通するため、テープを貼らなければブレードの歯が下の台にあたり、傷ついてしまうためである。次にシリコンウェハを切断するが、この際、歯の回転数、切削速度、シリコンウェハの切断間隔など設定するパラメータが多くあり、何か設定に不具合があるとカットしたシリコンウェハに亀裂が入ったり、シリコンウェハがテープから剥がれ吹き飛んでいたりする。今回の実習では、このシリコンウェハをできるだけ小さく切断するという課題に取り組んだが、各パラメータの設定はとても困難な作業となった。こうした加工は一見すると、機械を用いて行う簡単な作業に見えるが、実際に加工を体験す

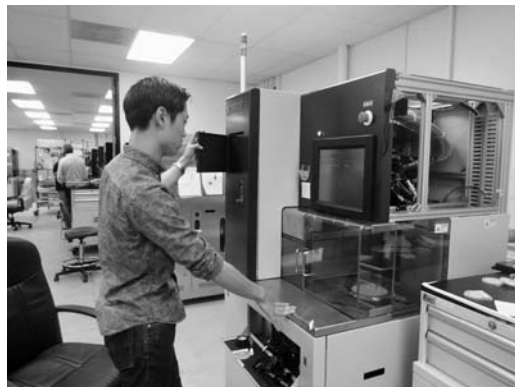


図1 実習中の様子

ることでその難しさ、また奥深さを学ぶことができた。実習中の様子を図1に示す。

## 3. おわりに

今回の実習では自分自身の語学力を向上させることができたとともに、今考えている将来設計が適切なのか、またこれから自分自身が目標に向かって進むときの大きなヒントを得ることができた。今自分自身が学生である以上、将来に向けてできること全てに熱意を持って取り組んでいきたい。今回のグローバル人材育成プログラムは、自分が抱いている目標を達成するための糧になったと確信する。

今回のインターンシップにおいて、社会を経験する貴重な機会を与えてくださった Disco Hi Tech America Inc. の皆様には心より御礼申し上げます。